

無機シリーズ

ラジカル制御形1液水性トリプル硬化ハイパープロテクト高機能無機系ハイブリッド樹脂塗料
ウォールバリア水性無機NTシリーズ



ラジカル制御形トリプル硬化ハイパープロテクト無機系ハイブリッド樹脂塗料

ウォールバリア水性無機NT

ウォールバリア水性無機NT-BIO 強力防かび・防藻

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上の制限なし



無機の強さを味方にした塗料

最新技術で無機の力を味方に、塗膜の劣化を促進する要素を全方位に抑制するトータルブロックテクノロジーが優れた塗膜性能を発揮します。

無機系ハイブリッド樹脂

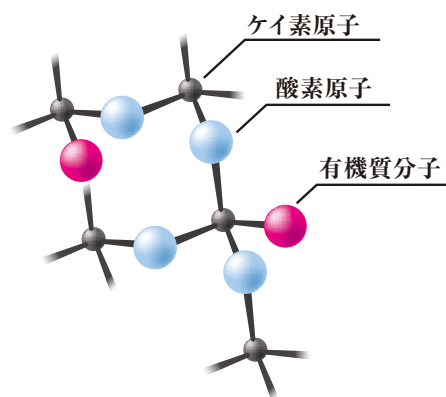
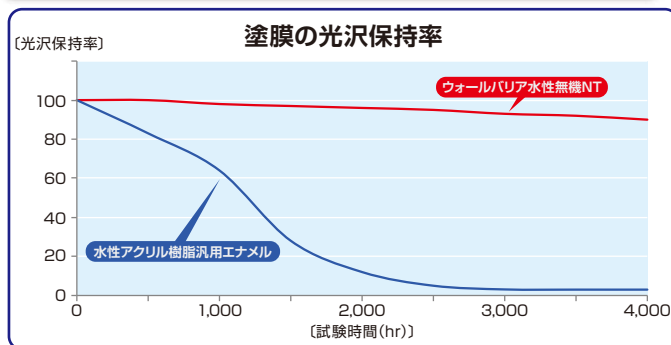
従来の塗膜主成分である有機樹脂は、紫外線により分子間が切断され低分子化することで塗膜の劣化が進行します。

無機成分であるSi-Oの結合エネルギーは紫外線エネルギーより高いため分子間の切断が非常に起こりにくく、劣化しにくい特長を有しています。

無機成分と有機成分を分子レベルで組み合わせ得られる無機・有機ハイブリッド樹脂は、無機成分の強靱性と有機成分の柔軟性を合わせ持つことにより、塗膜の耐久性を飛躍的に向上させます。

塗膜にガラスや鉱石の強靱さをプラス!

促進耐候性試験結果(キセノンランプ法)



「ラジカル」の発生を抑制するラジカルプロテクトシステムと水分の浸透を抑制する当社独自のTriple硬化システムを組み合わせた「ハイパープロテクト機能」は卓越した耐久性を発揮します。



水分

Triple硬化システムの 強靱で緻密な塗膜

塗替施工仕様書

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル等

●下地調整

工 程	塗 材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
1 下地調整						●既存塗膜の浮き、ふくれ、ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●汚れ、じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧:15MPa以上)で除去する。 ●水洗い面を乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。 ●シーリング面は予めラフトン逆プライマーを塗装する。

■窯業系サイディングボード

●下塗り

2 下塗り	WBリメックスEP0 清水	100 3~5	0.2~0.4	1	3時間以上	ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	------------------	------------	---------	---	-------	---------------------

※コンクリート・モルタル下地の改修にも使用可能です。

使用可能下塗: カチオンシーラー EPO、カチオンホワイトシーラー EPO、ワイドシーラー EPO、

ワイド浸透シーラー EPO、ワイド浸透シーラー ホワイトなど

※下塗りに、シーリング汚染抑制剤(WBリメックスNBJ)は使用できませんのでご注意ください。

●下塗り[下地:特殊コーティング(ふっ素・光触媒等)窯業系サイディングボード用]

2 下塗り	WBグリップシーラー EPO	100 (無希釈)	0.08~0.18	1~2	4時間以上 7日以内	ウールローラー塗り スプレー塗り
-------	----------------	--------------	-----------	-----	---------------	---------------------

※吸い込みの少ない活膜などを塗替える場合、塗付量目安0.05~0.07kg/m²とし、塗り過ぎにご注意ください。

※下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での施工間隔は3時間以上

使用可能下塗: WBグリップシーラー EPO、WB水性グリップシーラー透明、WB水性グリップホワイトシーラー

■コンクリート・モルタル等

●下塗り[ウールローラー仕上り] 既存塗膜:リシン・吹付タイル等

2 下塗り	WBリメックスEP0又はRE 清水	100 5~10	0.3~0.5	1	5時間以上	ウールローラー塗り
-------	----------------------	-------------	---------	---	-------	-----------

●下塗り[さざなみ模様仕上り] 既存塗膜:リシン・吹付タイル等

2 下塗り	WBリメックスEP0又はRE 清水	100 1~3	0.8~1.5	1	8時間以上	パターンローラー塗り
-------	----------------------	------------	---------	---	-------	------------

金属サイディングボード・一般鉄部・手すりなど

●素地調整

既存塗膜: SOP・フタル酸樹脂・塩化ビニル樹脂・アクリル樹脂など

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 素地調整						●ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨布、皮すきなどの手工具を併用して、さび、劣化塗膜などを除去する。 ●油脂類は溶剤ぶきで除去する。

●下塗り

2 下塗り	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5	0.18~0.24	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り ^{注1)}
-------	----------------------	------------	-----------	-----	-------	--

注1)ワイドさびストップをスプレー塗装する場合の希釈率は0~10%です。

使用可能下塗: ワイドさびストップ、1液ワイドさびストップ、アクアさびストップ、エポブラなど

※エポマイルド、リゾノン、水性ラスノンEPOは使用できません。

●上塗り[各下地共通]

3 上塗り	ウォールバリア水性無機NT シリーズ 清水	100 0~10	0.12~0.2	2	3時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り ^{注2)}
-------	-----------------------------	-------------	----------	---	---------------------------	--

注2)ウォールバリア水性無機NTシリーズをスプレー塗装する場合の希釈率は10~15%です。

使用可能上塗: ウォールバリア水性無機NT、ウォールバリア水性無機NT-BIO

用 途

建築物内外壁など

適用下地

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・
ALCパネル・スレート・鉄部・手すりなど

施工上の注意事項

- 適用部位、適用素地以外への使用は避けてください。
- ドパルティン、ゴム、プラスチックなど可塑剤を含むものに本品塗装面が接触すると、粘着の発生やはく離を起す場合がありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。
- ベンチ、ジャングリングなど人が集まるもの、またテーブル、カウンター、棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
- 腐蝕性、耐火被覆ケイ酸カルシウム板、ロックウールなどのぜい弱な素地への塗装は避けてください。
- シンナー、歩行部位への使用は避けてください。
- シム(上・下)仕上面へ塗装しますと、付着不良などの不具合が生じますので、塗装は避けてください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起すことがあります。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむをえず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分乾燥していることを確認の上、予め「ラフトン逆プライマー」を塗装してください。(ポリサルファイドシーリング材の場合は2回塗ってください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは塗装を避けてください。)
- 強風時、降雨・降雪時、気温5℃以下、湿度85%以上の場合は塗装を避けてください。
- 落雨・降雪、結露などが懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 結露が多発する箇所では、塗膜表面に水溶性成分が溶出しシミになる場合があります。善い結露が予想される場所への塗装は避けるか弱溶剤系塗料での塗装を推奨いたします。
- 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。
- 塗装後に結露を生じますと、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。
- シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 施工面が高温(50℃以上)または低温(5℃以下)の場合は塗装を避けてください。
- 素地調整は急いで行ない、十分乾燥させてください。素地調整後及び乾燥が不十分な状態で塗装しますと、膨れ、割れ、剥がれなどの原因になります。(含水率10%以下、pH10以下)
- コンクリート及びモルタル下地の段差、巣穴、クラック、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンカチオンSCフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- 窯業系サイディングボード及びALCパネルのひび割れ、欠損などは、パネル製造メーカーが推奨する補修材、工法で補修してください。
- 光触媒、無機系、ふっ素樹脂塗料などが施された特殊な下地に塗装する際は、予め付着性を確認の上、本施工を実施してください。
- 特殊コーティング(光触媒・ふっ素等)の窯業系・金属系サイディングボードへ塗装する際は、付着性を十分に確認の上、本施工を実施してください。
- ALCパネル面は、ラフトンカチオンSCフィラーまたはスズカブラザーで全面に、木部の場合は1液ワイドウレタン木部用下塗、カチオンホワイトシーラー等を塗装してください。
- 新設仕様の場合は、必ず下塗りを塗装してください。
- セメント成分が使われている下地の場合、エフロロセスが発生する恐れがありますので、ワイドシーラーEPOやカチオンシーラーEPO等の下塗りをご使用ください。
- 塗料は使用前に十分かはんし、均一にしてから塗装してください。
- 他の塗料との混合は避けてください。
- 塗料の希釈では所定の割合を計算混合し、機械かはんなどにより均一にしてから使用してください。うすめずは、スク・たまる・仕上がりに不良などの原因になりますので注意してください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- 塗料の取扱い、施工時は、換気を行ってください。また塗装後も乾燥のために、換気を十分に行ってください。
- 被塗物の形状、膜厚、色相、塗装回数、希釈率によりつやが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 施工前に必ず試し塗りを行い、つや等の仕上がりを確認した上で、本施工を行ってください。
- 取り付け金具、くぎ頭などは、予めさび止め塗料で拾い塗りしてください。
- 鉄部などの金属系素地には上塗りの直接塗装はできません。予めさび止め塗料を塗装してください。
- 日陰膜が弾性系主材の場合は塗替えに適さないことがありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 日陰膜につやがある場合や来たり、日陰膜の場合は、塗替えに適さない塗料の種類がありますので試し塗りをし、密着性を確認してから本塗装を行ってください。
- 日陰膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨試すを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜剥離の原因となります。
- 劣化した色を使用する場合、素地の隠い性が劣る可能性がありますので試し塗りをしてから本塗装を行ってください。
- 遮光性の場合、被塗物に強く接触すると衣類などに付着する可能性がありますのでご注意ください。
- つや調製品は、被塗物の形状、膜厚、色相、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合がありますのでご了承ください。施工前に必ず試し塗りを行い、つや等の仕上がりを確認した上で、本施工を行ってください。
- スプレーミストや臭い蒸気などが、居住者・隣家・車庫などに飛散しないよう留意し、十分な養生を行ってください。
- 塗装後の乾燥が不十分な状態で降雨や結露などがあると、白化・色浮きなどを生じることがあります。その時は、十分乾燥後、再塗装してください。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。乾燥過程で雨がかかると、本来の塗膜性能が得られませんが、養生シートなどで適切な処置をしてください。
- 吹付施工の場合は、周辺への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- ローラー施工の場合、塗付むら、塗継ぎ、タッチアップなどにより、つやむらを生じやすい傾向にありますので、ご注意ください。
- 補修塗りは同一ロットの塗料を、同一の塗装方法で行ってください。
- 水性塗料の塗装に用いた、はけ、ローラーなどの用具は早めに水洗いしてください。
- 弱溶剤系・溶剤系塗料の塗装に用いた、はけ、ローラーなどの用具の洗浄には、スズカシンナー#1000または#2000をご使用ください。
- カチオンシーラーEPO、カチオンホワイトシーラーEPOは、一般の水性塗料に用いた塗装器具を共用すると固まるので、ご注意ください。また小分けする際はプラスチック容器をご使用ください。
- BIOタイプは、かびや藻などの繁殖抑制効果に優れるものですが、施工部位の形状(水分が滞留しやすい壁面など)や環境(植栽、森林、湖沼などに隣接している壁面、建物の北面、かげなどで常時湿気が高い壁面など)により、防かび・防藻性能が十分発揮されない場合があります。また、防かび・防藻の効果は永久に維持するものではありません。
- 低温時や高湿度時、養生シートなどで風の通りが悪い場合などは、乾燥が遅れますので、天候、気温、雨養生などの施工管理に十分ご注意ください。また、乾燥後も水が長時間留まる部位などでは塗膜に影れや割れなどの不具合が生じることがありますのでご注意ください。
- 蓄熱されやすい軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディングなどの建材を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシンの場合、塗替え段階ですでに旧塗膜が剥がれている場合があります。そのまま塗装すると影れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境などの複数の条件が重なると建材の変形、塗膜の影れ、はく離を生じることがありますので、最寄りの営業所にご相談ください。
- 本塗料には揮発性有機化合物が含まれており、塗装中や塗装後において、化学物質過敏症やアレルギー体質の人の安全に対する配慮を行ってください。
- 塗膜乾燥初期の降雨により、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集まる箇所での泡の発生、COD値上昇の可能性あります。雨水が河川に流入するおそれがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 常時、高温・高湿度になる箇所や、酸性・アルカリ性物質が当たる箇所は劣化が早くなる可能性があります。
- 塗膜上への鳥の糞、砂、泥、有機物(木の葉)、金属(くぎ)などを放置すると、塗膜の変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。防護マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。
- もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場合の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。

注) ①建物の構造、塗装部位(雨のかりが光い面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

②各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。

また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。



スズカファイン株式会社

営業本部 ☎510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 ☎510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX 059-397-6191
☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311

東京支店 ☎03-5661-2211

名古屋支店 ☎052-411-1255

大阪支店 ☎072-862-1601

広島支店 ☎082-277-1116

四国支店 ☎0877-24-4621

九州支店 ☎092-938-0071



URL <https://www.suzukafine.co.jp/>

- このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- このカタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

25/04

取扱店